



2024年4月26日  
東日本旅客鉄道株式会社  
首都圏本部

## Yamanote Line Museumで新たなアーティストによる作品を展示・販売します！ ～Yamanote Line Museum 高田馬場駅・東京駅でアートをお楽しみください～

- いつもの駅で気軽にアートを愉しむ機会を提供する「Yamanote Line Museum」は、現在10駅(上野駅、高田馬場駅、新橋駅、四ツ谷駅、東京駅、秋葉原駅、田町駅、神田駅、日暮里駅、信濃町駅)での展示拠点および「Yamanote Line Museum POP」として駅のポスターフレームで展開しています。
- このたび、2024年5月1日(水)にYamanote Line Museum 高田馬場駅・東京駅で展示中の作品がそれぞれ入れ替わります。
- お気に入りの作品は、展示作品に掲出の2次元コードを読み込んでいただくと表示される、JRE MALL「東京感動線ショップ」にて購入いただけます。

### 1. Yamanote Line Museum 高田馬場駅 展示作品について

- (1)場 所： 高田馬場駅早稲田口改札外 BECK'S COFFEE SHOP 高田馬場店内
- (2)開始日時： 2024年5月1日(水)
- (3)展示時間： 平日 6時30分～21時00分  
土休日 6時30分～20時00分  
※BECK'S COFFEE SHOP高田馬場店の営業時間に準ずる
- (4)販 売： <https://www.jreastmall.com/shop/c/cf826/>  
※展示作品はJRE MALL「東京感動線ショップ」で購入いただけます
- (5)第8弾のアーティスト

#### ◆松岡柚歩(Yuzuho Matsuoka)

1996年兵庫県生まれ。

2021年、京都芸術大学大学院修士課程芸術研究科美術工芸領域油画専攻修了。正方形のキャンバスにアクリル絵具で格子柄を描き、その上から抽象的な形状をした色面を部分的に盛り付けることで、人の視覚の働きにアプローチする絵画作品を制作している。図柄や彩度と明度の高さから一見ポップなイメージを持つ作品は、重なりが作り出すレイヤーによって立体作品のような印象を持ちつつ、鑑賞者と絵画の関係性について再考させている。

主な個展に、「outline」(WATOWA gallery/elephant studio、東京、2022)、「ピースとホール」(haku kyoto、2022)。主な受賞歴として、「ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2021」Proactive賞(2021)、「シェル美術賞2020」学生特別賞(2020)など。



撮影：岡はるか

#### 【第8弾・展示作品イメージ】

展示タイトル：喉元を過ぎるとき



outline (check#146)



outline (check#159)



outline (check#178)



outline (check#179)

(6)アートディレクションについて

melme <https://meltedmeadow.com>

Omelmelは柳瀬正義と吉野マオの2人組クリエイティブユニットです。

○企画から、空間ブランディング、グラフィックデザイン、アート・キュレーションなど多岐に渡るアプローチで、日常から新しい世界を切り開く体験を創造しています。



**2. Yamanote Line Museum 東京駅 展示作品について**

(1)場 所：東京駅丸の内南口改札内 BECK'S COFFEE SHOP 丸の内南口店内

(2)開始日時：2024年5月1日(水)

(3)展示時間：6時30分～22時00分

※BECK'S COFFEE SHOP 丸の内南口店内の営業時間に準ずる

(4)販 売：<https://www.jreastmall.com/shop/c/cF82902/>

※展示作品はJRE MALL「東京感動線ショップ」で購入いただけます

(5)第2弾のアーティスト

IORI KIKUCHI氏とArisa Ihashi氏の2人のアーティストの作品を展示。

◆IORI KIKUCHI

1998年東京都生まれ。湘南育ちのアーティスト。

巨匠クロードモネの作品に憧れ、3歳から絵を描き始める。NYやパリでアートを学び、2020年テンプル大学ジャパンを卒業。2019年「TURNER AWARD 2018」で大賞受賞。「竹内アンナ」のグッズデザインを担当。幅広い表現方法で作品を日々制作中。

◆Arisa Ihashi

ビジュアルプリントアーティスト。

ロンドン芸術大学でファッションやテキスタイルデザインを学び、2017年に帰国。帰国後は、「リアルから生み出されるフィクション」をテーマにした作品を制作している。現実の要素をもとにして新しい価値観や世界観を表現し、人間の想像を超えた鮮やかで独創的な世界を追求。「のせでんアートライン2021」「越後妻有 大地の芸術祭2022」「ATAMI ART GRANT 2023」などに参加。



【第2弾・展示作品イメージ】



「Little Slice Of Life」  
IORI KIKUCHI



「Paris」  
IORI KIKUCHI



「Trip Series to Shizuoka」  
Arisa Ihashi



「Trip Series to Berlin - 3」  
Arisa Ihashi

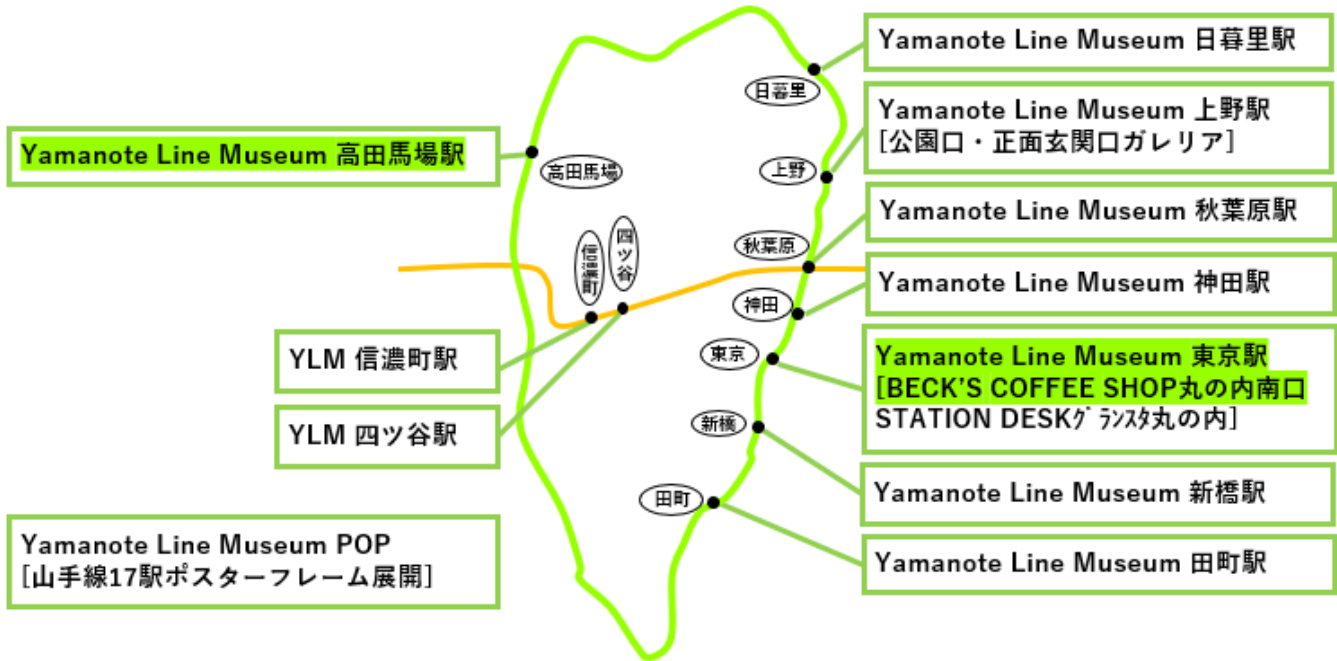
(6)アートディレクションについて

株式会社NOMAL <https://nomal.jp/>

「チャレンジする人の、背中を押す事業を創り続ける」というミッションのもと、各種アート事業を展開しています。作品点数3,000点以上のアート通販サイト「WASABI」や、現代アート通販サイトおよびウォールアートで企業をより魅力的に魅せるオフィス×ウォールアート事業を展開しています。



### 3. Yamanote Line Museumの拠点について



#### 「Yamanote Line Museum」コンセプトワードについて

『山手線がアートの環に。つなげる、つながるミュージアム構想』

山手線やその周辺の駅でのアートギャラリーの展開をさらに推進していきます。いつもは最短距離で通り過ぎる駅に、対話や刺激をもたらすアート作品を展開し、アートを身近に感じる、心豊かな都市生活空間を創造していきます。

#### 「Yamanote Line Museum」ウェブサイトについて

URL: <https://yamanotelinemuseum.com/>

#### 「東京感動線／TOKYO MOVING ROUND」について

- JR東日本はグループ経営ビジョン「変革2027」において、「鉄道を起点としたサービス提供」から「ヒトを起点とした価値・サービスの創造」に転換し、地域の皆さまの「心豊かな生活」の実現を目指しています。
- 移動を含めた日常生活の利便性を高めるサービスに加え、多様なまちや人の個性を引き出し、駅と駅、駅とまち、人とまち、人と人のつながりを創り出すことで、心豊かな都市生活空間を創造していきます。
- その一環として「東京感動線」はアートの取組みを手掛け、いつもの駅で、気軽にアートを愉しむ機会を提供しています。様々なキュレーターとともに“アートとつながる日常”をテーマに、エキナカ施設等の一角にアートを展示し気軽にアートと触れ合える機会を提供するギャラリーを展開しています。

#### 「東京感動線」公式ウェブサイト・SNSアカウント

公式ウェブサイト	<a href="https://www.jreast.co.jp/tokyomovinground/">https://www.jreast.co.jp/tokyomovinground/</a>
X	<a href="https://twitter.com/tokyo_moving_o/">https://twitter.com/tokyo_moving_o/</a>
Instagram	<a href="https://www.instagram.com/tokyomovinground/">https://www.instagram.com/tokyomovinground/</a>
Facebook	<a href="https://www.facebook.com/tokyo.moving.round.jp/">https://www.facebook.com/tokyo.moving.round.jp/</a>
ハッシュタグ	#東京感動線 #TokyoMovingRound